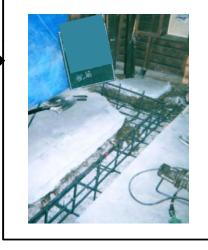
耐震補強工事の写真の撮り方

工事前の状況



基礎工事(ある場合)

- ・配筋状況の確認
- ・他の基礎へのアンカーや アンカーボルトの設置
- ・打設後の出来形の確認



- ・筋交金物が適切に設置さていることの確認
- ・接合部仕様にあった金物が設置されていることの確認
- ・施工場所がわかるように写真に番号等を入れる
- ・アンカーボルトがあることの確認

筋交金物上部と柱頭金物





全箇所ではないが写真で確認 筋交の仕様(厚さ)





筋交・金物設置





☆ 共通事項 使用金物・釘・構造用合板一覧(例)

筋交金物1



柱脚金物



釘種類の確認 1



筋交金物2



JASマークの確認



釘種類の確認2



(5) 完成

・工事前の状況写真と 同じ方向から撮影する。



構造用合板設置

- ・周囲・中央部の釘ピッチがわかるように ・3×6板を使った場合はジョイント部の下地と釘ピッチがわかるように
- ・JASマークが写るように





ジョイント部下地



釘のピッチ





- 2 構造用合板のジョイント部の補強が不明 → 3 耐力壁両端部にアンカーボルトが無い →
- 接合部仕様 I なのに設置した金物がⅡ仕様 → 再施工または接合部仕様Ⅱとして再計算
 - 下地の状態で一回撮影する → アンカー設置又は接合部仕様を下げて再計算
- 5 筋交プレートの不適切な取り付け → 再施工または筋交仕様を金物無しとして再計算
- 6 当初計画と変更となった
- 再計算をし、金額が変更となれば再度見積もりを提出
- 7 柱脚柱頭余物をつけたが節交の → 隠れる前に柱脚・柱頭の余物を撮影する